

(トップページ: <http://mylibrary.maeda1.jp/>)

(GDP (IMF WEO)): <http://mylibrary.maeda1.jp/GDP.html>)

マイライブラリー:0481

(注)本稿は 2019 年 10 月 22 日から 29 日まで 5 回に分けて「ブログ:石油と中東」に掲載したレポートをまとめたものです。

2019.11.8
前田 高行

今年の成長率は軒並み鈍化:世界・中東主要の GDP(IMF WEO 2019 年 10 月版)

目次	頁
1. 2019/20 年の経済成長率	1
2. 前回(2019 年 4 月)と今回(2019 年 10 月)の比較	3
3. 2019 年の GDP (Current Price)	4
4. 2018 年の一人当たり GDP	5
5. 世界および主要地域・国の GDP 成長率の推移(2016~2020年)	5

IMF(国際通貨基金)では毎年 4 月および 10 月に世界各国の経済見通し「World Economic Outlook Database (WEO)」を発表しており、今年 10 月版(以下 WEO2019Oct)がインターネット上に公開された。

* URL: <https://www.imf.org/external/pubs/ft/weo/2019/02/weodata/index.aspx>

この中には GDP 成長率、ドル建て・各国通貨建ての GDP 金額、一人当たり GDP、貿易額、財政収支など数多くのデータがあり、特に当年度或いは次年度の経済成長率は官庁、メディア等々で広く引用されている。

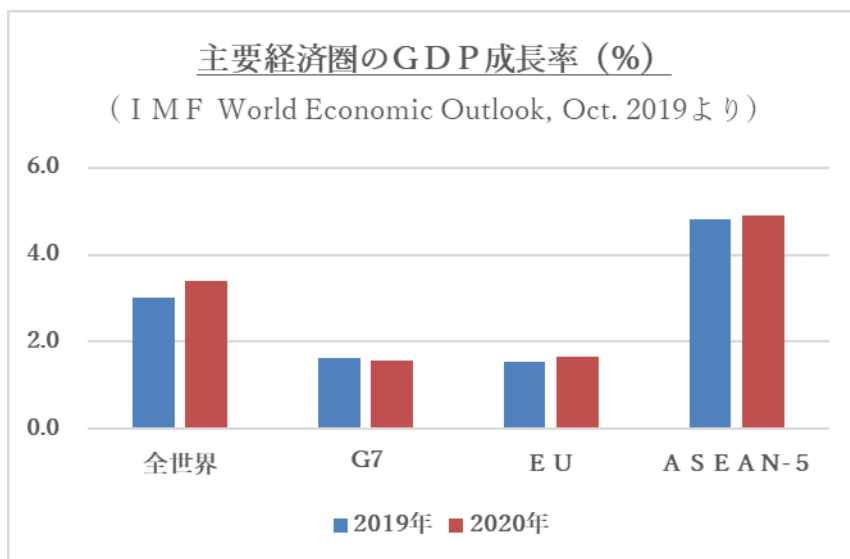
ここでは世界と中東主要国の今年及び来年の成長率について前回 4 月版(以下 WEO2019Apr)との変化を見るほか、2016 年から 2020 年(予測)までの GDP 総額及び一人当たり GDP(いずれも current price, ドル建て)を取り上げて各国を比較することにより世界と中東主要国の経済状況を概観する。

1. 2019/20 年の経済成長率(末尾表 1-B-2-08 参照)

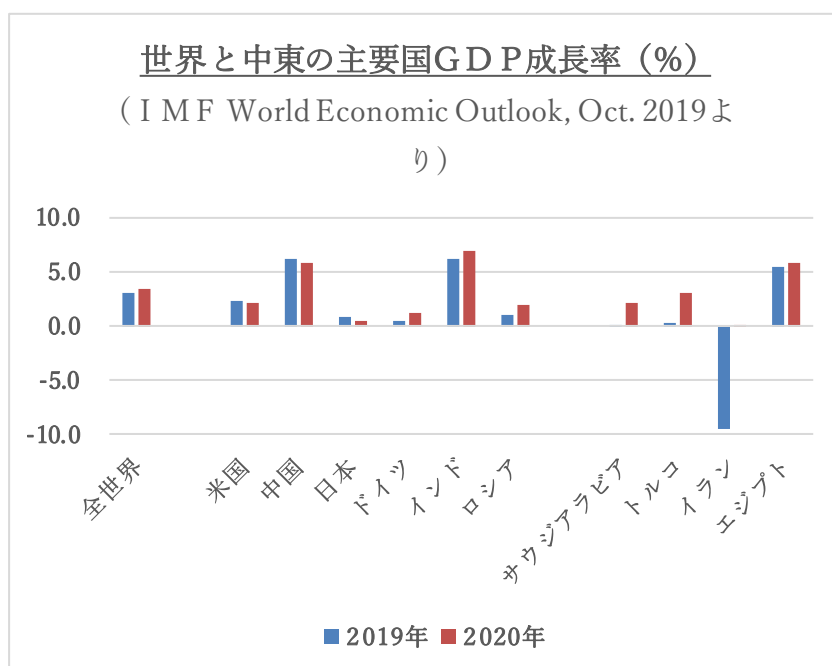
(1)全世界及び主要経済圏の GDP 成長率

IMF は今年(2019 年)の世界の経済成長率を 3.0%と見ており、来年(2020 年)は今年よりも高めの 3.4%と予測している。経済圏毎に見ると、主要先進 7 カ国(G7)は今年が 1.626%、来年は 1.571%であり来年の方が鈍化する。一方、EU は今年 1.526%に対し来年は 1.64%でありわずか

ながら上昇する見込みである。今年から来年にかけて G7 と EU の成長率の見通しが逆転しているのは、次項に述べるように、G7 のうち米国と日本の来年の成長率が今年よりも低いためである。ASEAN5 か国は今年の 4.818% から来年は 4.915% とやや上向く見通しである。



(2) 主要国の GDP 成長率



主要国の今年と来年の成長率を見ると、米国、日本及び中国は来年の成長率が低下すると予測されているが、ドイツ、インド、ロシア、サウジアラビア、トルコなどはいずれも今年より来年の成長率は上昇するとしており対照的である。

GDP が世界最大の米国の今年の成長率は 2.4% であり来年は 2.1% と予測されている。中国と

日本はそれぞれ 6.1%→5.8%及び 0.9%→0.5%と見込まれる。中国は近年成長率が鈍化しているが世界の平均成長率(今年、来年とも 3%台)に比べるとインドと並び依然突出して高い成長率を維持している。

中国を上回る成長が見込まれるのがインドであり、同国の今年の成長率は 6.1%、来年は 7.0%の成長率が見込まれている。ドイツの今年と来年の成長率は 0.5%→1.2%であり、ロシアは 1.1%→1.9%である。

中東主要国のうちエジプトは今年と来年の成長率がそれぞれ5.5%及び5.9%と世界平均を上回る安定して高い成長率を維持するものとみられる。これに対してサウジアラビア及びトルコは今年の成長率はともに0.2%にとどまっており、特にイランは米国による経済制裁・原油輸出制限の影響を受けて成長率は▲9.5%とかなり深刻な状況である。これら3か国の来年の成長率はトルコ3.0%、サウジアラビア2.2%と予測され、イランはマイナス成長を脱して+0.046%とプラス成長に復帰すると予測している。但し米国の対イラン経済制裁が終息する気配は見られず、またトルコも米国との貿易摩擦の恐れがあり、さらにサウジアラビアも原油価格が低迷したままであるため、IMFの予測通りの成長率を達成できるかは不透明であると言わざるを得ない。

(世界の大半の地域と国で下方修正された成長率！)

2. 前回(2019年4月)と今回(2019年10月)の比較(末尾表 1-B-2-08 参照)

(1) 世界および主要経済圏の比較

上述のとおり今回(WEO2019Oct)の全世界の成長率見通しは今年(2019年)が3.0%、来年(2020年)は3.4%である。これに対して前回(WEO2019Apr)の見通しでは今年が3.3%、来年は3.6%である。本年は0.3%、来年は0.2%と両年ともに下方修正されている。

2019年の見通しについて主要経済圏を前回と比較すると、G7は前回(2019Apr)、今回(2019Oct)ともに1.6%と変わらない(厳密には前回は1.648%、今回は1.626%でわずかながら低下している)。その他の経済圏についてもEU(1.6%→1.5%)、ASEAN-5(5.1%→4.8%)といずれも下方修正されている。米中貿易摩擦による世界景気の停滞などが影響していると考えられる。

主要経済圏の来年(2020年)のGDP成長率の見通しについては、G7は今回は1.6%、前回は1.5%で成長率がわずかながらアップすると見込まれている。これに対してEUは前回の1.7%が今回は1.6%に、またASEAN-5も5.2%→4.9%といずれも成長が下方修正されている。

(2) 主要国の比較

今年の成長率については米国は前回2.331%、今回2.35%とほとんど変わらない。これに対して中国は前回(2019Apr)の6.3%から今回(2019Oct)は6.1%に鈍化すると予測している。また日本も1.0%から0.9%に下方修正されている。その他の国の多くもロシア(1.6%→1.1%)、インド(7.3%→6.1%)に成長率は鈍化している。中東諸国についてはサウジアラビア、UAEのほかイランも下方修正され、特にイランの今年の成長率は▲6.0%から▲9.5%へ大幅な悪化が見込まれている。一方でトルコ(▲2.5%→+0.2%)、イラク(2.8%→3.4%)など成長が上向いている国も見受けられる。

来年(2020年)の成長率を前回と今回で比較すると、下方修正した国が上方修正した国をやや上回っている。2020年の成長率が前回より上方修正された国は、米国(1.9%→2.1%)、ロシア(1.7%→1.9%)、サウジアラビア(2.1%→2.2%)、トルコ(2.8%→3.0%)などの国々である。一方下方修正された国は中国(6.1%→5.8%)、インド(7.5%→7.0%)、韓国(2.8%→2.2%)、UAE(3.3%→2.5%)などである。日本は前回見通し(0.45%)、今回見通し(0.466%)とほとんど変わって

いない。

(米中日 GDP 上位 3 カ国だけで世界の GDP の 47% !)

3. 2019年の GDP (Current Price)(末尾表 1-B-2-09 参照)

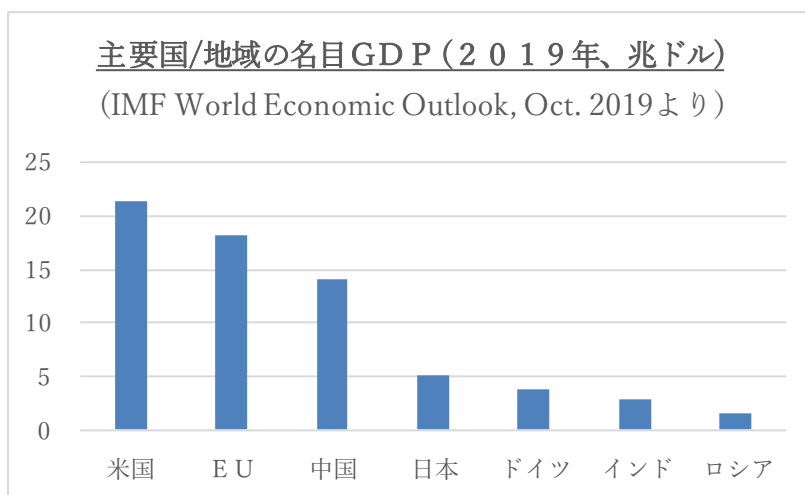
(1)世界及び主要国の GDP 総額

IMFによれば今年の世界の GDP(at Current Price)総額は87兆ドルである。このうち G7 は40兆ドルで全体の 46%を占め圧倒的な存在感を示している。EU の GDP 総額は18兆ドル、ASEAN5か国は2.6兆ドル(全体の3%)である。

国別では米国が世界トップの21兆ドルで全世界に占める割合は25%、同国一国だけで世界の GDP の4分の1を生み出している。米国に次ぐ GDP 大国は中国の14兆ドルであり世界全体の16%を占めている。この2か国が世界でも突出している。日本は5.2兆ドルであるが、米国の4分の1あるいは中国の3分の1にとどまっている。EU の経済大国ドイツの GDP は3.8兆ドルであり、EU 全体の20%を占めている。その他の主な国を見るとインドは2.9兆ドル、韓国及びロシアは共に1.6兆ドルである。

中東諸国で2019年の GDP が最も大きい国はサウジアラビアの7,800億ドルであり、トルコが7,400億ドルが続いている。第3位はイラン4,600億ドル、第4位 UAE(4,060億ドル)はいずれもトルコ或いはサウジアラビアの6割程度にとどまっている。

(2)世界上位20ヶ国とその GDP(末尾表 1-B-2-12 参照)



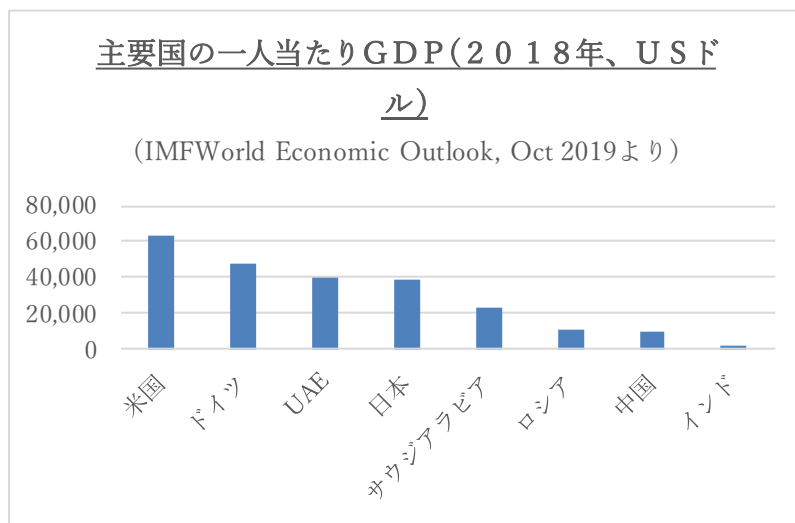
2019年の GDP の世界ベストテンは第1位が米国、第2位中国、3位日本、4位ドイツである。第5位にはインドが2.9兆ドルが続いており、6位から10位までは英国(2兆7,400億ドル)、フランス(2兆7,100億ドル)、イタリア(1兆9,900億ドル)、ブラジル(1兆8,500億ドル)及びカナダ(1兆7,300億ド

ル)の各国である。

11位から20位まではロシア、韓国、スペイン、オーストラリア、メキシコ、インドネシア、オランダ、サウジアラビア、トルコ及びスイスであり、中東諸国ではサウジアラビア及びトルコがそれぞれ世界18位と19位にランク付けされている。このほか中東諸国で世界上位に入っているのはイラン(世界26位)、UAE(同31位)、イスラエル(同32位)、エジプト(同42位)、イラク(同51位)等の国々である。

(トルコを追い抜いた中国！)

4. 2018年の一人当たりGDP(末尾表 1-B-2-10 参照)



2018年の一人当たりGDPは日本が39,304ドル、米国は62,869ドル、ドイツは47,662ドルである。米国は日本の1.6倍、ドイツは1.3倍である。また韓国は33,320ドルであり、米国の2分の1、日本の8割である。一般にBRICsと呼ばれるロシア、中国、インドはそれぞれ11,289ドル、9,580ドル、2,038ドルである。インドは今年6.

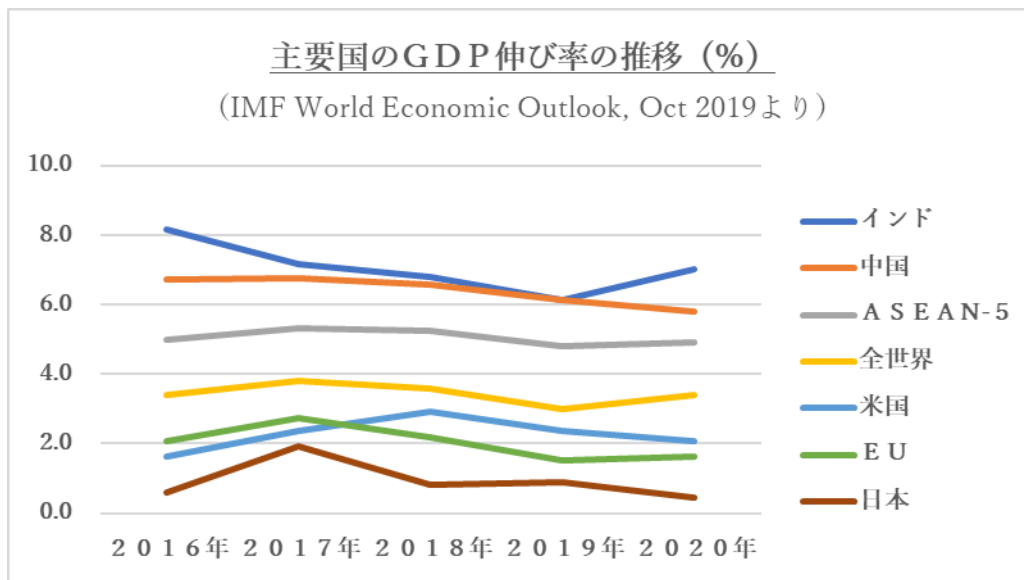
1%、来年7.0%と中国を上回る高い成長率が見込まれているが(上記1. 2019/2020年の経済成長率参照)、一人当たりGDPはまだまだ低く、中国の5分の1、日本の20分の1、米国の30分の1に過ぎない。

中東主要国の一人当たりGDPは各国間の格差が極めて大きい。一人当たりGDPが1万ドルを超える国はイスラエル(41,728ドル)のほかサウジアラビア(23,539ドル)及びUAE(39,709ドル)の湾岸産油国など一部の国だけである。トルコは1万ドルを割っており(9,405ドル)、サウジアラビア、UAEと同じ産油国であるイラン及びイラクはそれぞれ5,417ドル、5,882ドルであり、サウジアラビアあるいはUAEの4分の1ないし7分の1にとどまっている。

なお一人当たりGDPは各国のGDP総額を人口数で割ったものであるが、IMF統計における計算の母数となる人口についてGCC諸国の場合特に注意すべき点がある。例えばUAEの2018年の人口は1,043万人(2019Oct)とされており、同国の一人当たりGDPは同年のGDP(4,141億ドル)をその人数で割ったものである。しかし同国人口のうち80%近くは出稼ぎ労働者が占めており、UAE国籍を有する自国民は2割程度とみられる。通常、統計上の人口は国籍を有する者のみが対象であるがUAEの一人当たりGDPには出稼ぎ労働者も含まれており実態を正確には反映していないと言える。このことは3分の1が外国人であるサウジアラビアの場合も程度の差はあれ同様である。

このような要素を加味してGDPを算出した統計は見当たらないが、UAEの実際の一人当たりGDPはIMF公表数値の数倍に達すると考えられ、これら湾岸産油国の一人当たりGDPは米国を上回り世界のトップクラスであることは間違いない。

5. 世界および主要地域・国のGDP成長率の推移(2016~2020年)(末尾表 1-B-2-11 参照)



(世界の平均成長率は3%台で推移、ASEAN5カ国は5%前後を維持！)

(1) 世界および主要経済圏

2016年(実績)から2020年(予測)までの5年間の経済成長率の推移を見ると世界全体では3%台で推移しており今年の成長率は3.0%、来年は3.4%である。

経済圏別で見るとG7の成長率は2016年の1.5%が翌2017年には2.3%にアップしたが、その後は年々減速する傾向にあり、今年(2019年)及び来年は1.6%にとどまる見通しである。EUはG7より若干高めの成長率を維持しているが、G7と同様2017年の2.8%が5年間で最も高く、今年～来年は1.5～1.6%の低成長と見込まれている。

2016年に5.0%の成長率を達成したASEAN-5カ国はその後も他の地域を大幅に上回る成長率を示し、今年及び来年は4.8%及び4.9%と予測されている。

(中国は減速気味で来年は5%台に！)

(2) 世界と中東主要国

日本の成長率は2016年の0.6%が2017年には1.9%に上昇したが、2018年以降、2020年までは0.8%→0.9%→0.5%と1%以下の低い成長が続く見通しである。日本の成長率は以下に述べるインド、中国にははるかに及ばず、米国、ドイツなどと比べても見劣りする低い水準にとどまっている。

米国の経済は先進国の中でも特に好調であり5年間を通じてほぼ2%台の成長を維持している。2016年以降の各年の成長率は1.6%→2.4%→2.9%→2.4%→2.1%である。中国はインドよりは低いものの5年間を通じてかなり高い成長が続くと見られているが、その成長率は2017年の6.8%から年々低下し来年(2020年)は5.8%と予測されている。これに対してインドは5年間で8.2%(2016年)→7.2%(2017年)→6.8%(2018年)→6.1%(2019年)→7.0%(2020年)と中国の成長率を上回る高い成長率が続く見込みである。

GDPが中東最大のサウジアラビアは原油価格下落の影響を受けて2017年は▲0.7%のマイナス成長に陥ったが、翌2018年にはプラス成長に戻っている。同国のGDPは石油価格によって大きく変動し、5年間のGDP成長率は1.7%(2016年)→▲0.7%(2017年)→2.4%(2018年)→0.2%(2019年)→2.2%(2020年)とブレが大きいのが特徴である。

イランは2016年に12.5%の高い成長率を記録したが2018年は一転してマイナス成長に転落し(▲4.8%)、今年(▲9.5%)はさらに悪化している。石油輸出を含む米国の広範な経済制裁の影響が強く表れている。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
E-mail; maedat@r6.dion.ne.jp

MENAと世界主要国のGDP実質成長率(2019-20年)

国名	2019年10月見通し (今回)			2019年4月見通し (前回)		前回/今回比較	
	2019年 成長率 (%)	2020年 成長率 (%)	増減	2019年 成長率 (%)	2020年 成長率 (%)	2019年 成長率 (%)	2020年 成長率 (%)
全世界	3.0	3.4	0.4	3.3	3.6	▲ 0.3	▲ 0.2
G7	1.6	1.6	▲ 0.1	1.6	1.5	▲ 0.0	0.1
EU	1.5	1.6	0.1	1.6	1.7	▲ 0.0	▲ 0.1
ASEAN-5	4.8	4.9	0.1	5.1	5.2	▲ 0.3	▲ 0.2
米国	2.4	2.1	▲ 0.3	2.3	1.9	0.0	0.2
中国	6.1	5.8	▲ 0.3	6.3	6.1	▲ 0.1	▲ 0.3
日本	0.9	0.5	▲ 0.4	1.0	0.5	▲ 0.1	0.0
ドイツ	0.5	1.2	0.7	0.8	1.4	▲ 0.2	▲ 0.2
英国	1.2	1.4	0.2	1.2	1.4	0.1	0.0
インド	6.1	7.0	0.9	7.3	7.5	▲ 1.1	▲ 0.5
韓国	2.0	2.2	0.3	2.6	2.8	▲ 0.6	▲ 0.6
ロシア	1.1	1.9	0.8	1.6	1.7	▲ 0.5	0.2
サウジアラビア	0.2	2.2	2.0	1.8	2.1	▲ 1.6	0.1
トルコ	0.2	3.0	2.7	▲ 2.5	2.5	2.8	0.4
UAE	1.6	2.5	1.0	2.8	3.3	▲ 1.3	▲ 0.8
イラン	-9.5	0.0	9.5	▲ 6.0	0.2	▲ 3.5	▲ 0.1
イスラエル	3.1	3.1	▲ 0.1	3.3	3.3	▲ 0.2	▲ 0.2
エジプト	5.5	5.9	0.4	5.5	5.9	0.0	▲ 0.0
イラク	3.4	4.7	1.3	2.8	8.1	0.6	▲ 3.4

2019年 GDP at Current Price(2019年10月値)

(単位:10億ドル)

国名	2019年	%	2018年	増減	増減率(%)
全世界	86,599	100.0%	84,930	1,669	2%
G7	39,627	45.8%	38,901	727	2%
EU	18,292	21.1%	18,737	▲ 445	-2%
ASEAN-5	2,625	3.0%	2,458	167	6%
米国	21,439	24.8%	20,580	859	4%
中国	14,140	16.3%	13,368	772	5%
日本	5,154	6.0%	4,972	183	4%
ドイツ	3,863	4.5%	3,951	▲ 88	-2%
英国	2,744	3.2%	2,829	▲ 85	-3%
インド	2,936	3.4%	2,719	217	7%
韓国	1,630	1.9%	1,720	▲ 91	-6%
ロシア	1,638	1.9%	1,657	▲ 19	-1%
サウジアラビア	779	0.9%	787	▲ 7	-1%
トルコ	744	0.9%	771	▲ 28	-4%
UAE	406	0.5%	414	▲ 8	-2%
イラン	459	0.5%	446	12	3%
イスラエル	388	0.4%	371	17	4%
エジプト	302	0.3%	250	53	17%
イラク	224	0.3%	224	0	0%

2018年一人当たりGDP(2019年10月値)

国名	USドル	(参考) 世界順位	(参考) インド=1
全世界	n.a.	-	-
G7	53,263.60	-	-
EU	43,187.54	-	-
ASEAN-5	13,252.85	-	-
米国	62,868.92	9	30.9
中国	9,580.24	72	4.7
日本	39,303.96	26	19.3
ドイツ	47,662.49	18	23.4
英国	42,579.82	22	20.9
インド	2,037.69	144	1.0
韓国	33,319.99	28	16.4
ロシア	11,289.44	65	5.5
サウジアラビア	23,538.94	40	11.6
トルコ	9,405.32	73	4.6
UAE	39,709.01	25	19.5
イラン	5,416.53	101	2.7
イスラエル	41,728.19	23	20.5
エジプト	2,573.29	137	1.3
イラク	5,881.52	98	2.9
(参考)世界1位 ルクセンブルグ	115,536.21	1	56.7

GDP 対前年伸び率(%、2019年10月値)

国名	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
全世界	3.4	3.8	3.6	3.0	3.4
G7	1.5	2.3	2.1	1.6	1.6
EU	2.1	2.8	2.2	1.5	1.6
ASEAN-5	5.0	5.3	5.2	4.8	4.9
米国	1.6	2.4	2.9	2.4	2.1
中国	6.7	6.8	6.6	6.1	5.8
日本	0.6	1.9	0.8	0.9	0.5
ドイツ	2.2	2.5	1.5	0.5	1.2
英国	1.8	1.8	1.4	1.2	1.4
インド	8.2	7.2	6.8	6.1	7.0
韓国	2.9	3.2	2.7	2.0	2.2
ロシア	0.3	1.6	2.3	1.1	1.9
サウジアラビア	1.7	▲ 0.7	2.4	0.2	2.2
トルコ	3.2	7.5	2.8	0.2	3.0
UAE	3.0	0.5	1.7	1.6	2.5
イラン	12.5	3.7	▲ 4.8	▲ 9.5	0.0
イスラエル	4.0	3.6	3.4	3.1	3.1
エジプト	4.3	4.1	5.3	5.5	5.9
イラク	15.2	▲ 2.5	▲ 0.6	3.4	4.7

世界上位20カ国と MENA 主要国の GDP(2019 年、at current price)

G20	Rank	国名		10億ドル	%	累計
*	1	United States	米国	21,439	24.8%	
*	2	China	中国	14,140	16.3%	41.1%
*	3	Japan	日本	5,154	6.0%	47.0%
*	4	Germany	ドイツ	3,863	4.5%	
*	5	India	インド	2,936	3.4%	
*	6	United Kingdom	英国	2,744	3.2%	
*	7	France	フランス	2,707	3.1%	
*	8	Italy	イタリア	1,989	2.3%	
*	9	Brazil	ブラジル	1,847	2.1%	
*	10	Canada	カナダ	1,731	2.0%	67.6%
*	11	Russia	ロシア	1,638	1.9%	
*	12	Korea	韓国	1,630	1.9%	
	13	Spain	スペイン	1,398	1.6%	
*	14	Australia	オーストラリア	1,376	1.6%	
*	15	Mexico	メキシコ	1,274	1.5%	
*	16	Indonesia	インドネシア	1,112	1.3%	
	17	Netherlands	オランダ	902	1.0%	
*	18	Saudi Arabia	サウジアラビア	779	0.9%	
*	19	Turkey	トルコ	744	0.9%	
	20	Switzerland	スイス	715	0.8%	81.0%
	26	Islamic Republic of Iran	イラン	459	0.5%	
	31	United Arab Emirates	UAE	406	0.5%	
	32	Israel	イスラエル	388	0.4%	
	42	Egypt	エジプト	302	0.3%	
	51	Iraq	イラク	224	0.3%	
		World	全世界	86,599	100.0%	